

特別活動 学習指導案（中学校第1学年）

1. 題材 「広島市の特徴と土砂災害」
2. 内容 【1学級活動 （2）適応と成長及び健康安全
キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成】
3. ねらい (1) 土石流、崖崩れ、地すべりの特徴を理解させる。 【災害の特徴】
(2) 広島市の地質や宅地化の動向等から、広島市は土砂災害が発生する可能性がある地域が多いことを理解させる。 【広島市の特徴】
4. 指導する時数 1/1
5. 学習展開

主な学習活動	教職員の支援等	資料
<p>1 8.20 豪雨災害について確認する。</p> <p>2 土石流、崖崩れ、地すべりの特徴や被害の大きさについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 土砂災害には、3つの種類があります。それぞれの特徴を映像で見てください。 </div> <p>3 広島市で起こった過去の土砂災害について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 土砂災害はめったに起きない災害なのでしょうか。次の写真を見てください。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を活用して、被害の様子等について説明する。 ○ 映像を視聴後、土石流、崖崩れ、地すべりの特徴について、板書に整理し、理解させる。 ○ 8.20 豪雨災害以外にも、広島市で土砂災害が発生していることに気付かせる。 	<p>写真4 図表3</p> <p>映像3</p> <p>写真5</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> なぜ、広島市は土砂災害が多く発生するのだろうか。 </div>		
<p>4 土砂災害が多い理由について考え、意見交流をする。</p> <p style="margin-left: 20px;">個人思考 グループ思考</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 資料をもとに、広島市で土砂災害が多く発生する理由を考えてみましょう。 </div> <p>5 グループごとの意見を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (補足説明後) 広島市に住むみなさんにとって、広島市の特徴や土砂災害について知ること、災害から身を守るための行動の仕方を学ぶことは、安心して生活を送るために必要なことです。 </div> <p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 土砂災害と広島市の特徴について、家族に説明します。どの資料を使って、どう説明するかを書きましょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自に資料を配付し、資料から読み取ったことを根拠に示しながら、ワークシートに書かせるよう指示する。 ○ グループ思考の場面では、ホワイトボード等を利用し、グループの意見をまとめるよう指示する。 ○ ホワイトボード等に記載した内容を黒板に掲示し、説明させることで、共有を図る。その際、教師が質問したり、補足説明を加えたりして、理解を深めさせる。 ○ 写真9を基に、広島市の中心部は平野が狭く、市の発展とともに、山腹や谷の中にも宅地造成してきた経緯等を補足説明する。 ○ 説明が難しい生徒には、教師がまとめた板書内容を参考にするよう助言する。 	<p>配付資料 写真9 図表7 図表8</p> <p>写真9</p>

- 評価 (1) 土石流、崖崩れ、地すべりの特徴を理解できたか。
(2) 広島市は土砂災害が発生する可能性がある地域が多いことを理解できたか。

特別活動 学習指導案（中学校第2学年）

1. 題材名 「防災情報の活用と日常の備え」
2. 内容 【1学級活動 （2）適応と成長及び健康安全
キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成】
3. ねらい （1）危険を回避するために必要な情報や、その活用の仕方について理解させる。
【情報の活用の仕方】
（2）災害に対する日常の備えの必要性を理解させる。
【日常の備え】
4. 指導する時数 1/1
5. 学習展開

主な学習活動	教職員の支援等	資料
<p>1 大雨の映像を見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（写真4を提示後） 8.20豪雨災害では、大きな被害をもたらしましたが、局地的な大雨が原因で災害が発生しました。では、大雨の様子を映像で確認してみましょう。</p> </div>	<p>○ 8.20豪雨災害では、局地的な大雨が降り、そのことが原因で災害が発生したことを説明する。</p>	<p>写真4 映像1</p>
<p>2 必要な情報について考え、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>土砂災害から身を守るために、どのような情報が必要でしょうか。</p> </div>	<p>○ 臨時休業等の判断基準となる情報や日頃見ている天気予報等を想起させる。</p>	
<p>3 基本的な防災情報とその意味を知る。</p>	<p>○ 「気象情報」の注意報・警報・特別警報の違いや「避難情報」の種類等について説明する。</p>	<p>図表9</p>
<p>4 気象情報や避難情報の入手手段について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（図表6、5、11を説明後） これらの情報は入手するだけでなく、活用することが大切です。そこで、実際に情報を活用して、いつ、どこに避難するかを考えてみましょう。</p> </div>	<p>○ 広島県防災Web・NHKデータ放送等を紹介する。</p> <p>○ 広島市防災情報メールは、住んでいる地域の情報を素早く入手することができ、便利であることを伝える。</p>	<p>図表6 図表5 図表11</p>
<p>土砂災害の発生に備え、どのタイミングで、どこに避難したらよいかを考えよう。</p>		
<p>5 避難開始時期、避難場所等をグループで考え、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情報の意味や家族構成、地図などをもとに、いつ、どこに避難するかを考えましょう。</p> </div>	<p>○ どの情報をもとに、なぜそう考えたかを話し合わせる。</p> <p>○ 発表後、情報の意味を理解した上で活用することや自ら進んで情報を集めることが大切であることを伝える。</p>	<p>配付資料 その他2 図表9</p>
<p>6 もしもの時のことを考え、家族で話し合っておくとよいことを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みなさんの地域で、〇〇が発生した場合、どこに避難するか知っていますか。</p> </div>	<p>○ 学区で起こりうる災害と、災害の種類に応じた避難場所を伝える。</p> <p>○ 学習したことを基に、家族と確認しようと思ったことを書かせる。</p> <p>○ この学習を通して、家族の人と話し合うよう伝える。</p>	

- 評価 （1）危険を回避するために必要な情報や、その活用の仕方について理解できたか。
（2）日常の備えの必要性に気づき、防災対策への関心を深めることができたか。

特別活動 学習指導案（中学校第3学年）

1. 題材 「わたしたちにできること ～土砂災害が起こったら～」
2. 内容 【1学級活動 （2）適応と成長及び健康安全
カ ボランティア活動の意義の理解と参加】
3. ねらい (1) 土砂災害への備えや災害が発生したときの行政・地域等の取組を理解させる。
【行政や地域等の働き】
(2) 中学生に求められる役割を理解するとともに、自分たちにできることについて考えさせる。
【支援の仕方・あり方】
4. 指導する時数 1 / 1
5. 学習展開

主な学習活動	教職員の支援等	資料
<p>1 土砂災害が起こると、どういう状況になるのかを想像する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(写真4を提示し) 平成26年8月に、広島で土砂災害が発生しました。 (写真7を提示し) 災害発生後の避難所の様子です。 もし、身近で、災害が発生したら、みなさんの生活は、どうなると思いますか。</p>	<p>○ 家族の状態・寝る場所・食べるもの・着るもの・心の状態など様々な視点から考えさせる。</p> <p>○ 写真7をパワーポイントで流しながら気付いたことをワークシートに記入させる。</p>	<p>写真4</p> <p>写真7</p>
<p>2 災害に備え、行政や地域の取組について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">災害による被害を最小限に食い止めるための取組について見てみましょう。</p>	<p>○ 災害を最小限に食い止めるために、行政は「市民の命を守るため」(公助)に、地域は「自分のたちの命を守るため」(共助)に取り組んでいることに気付かせる。</p> <p>○ 行政や地域の取組に加え、自分たちにできることはないかを考えさせる。</p>	<p>写真6</p> <p>図表6</p> <p>図表10</p> <p>写真8</p>
わたしたちにできることは何だろう。		
<p>3 わたしたちにできることはないか、考える。(個人・グループ)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">東日本大震災や平成28年に発生した熊本地震では、避難所で中学生が貢献し、中学生に求められる期待は大きいと言えます。 中学生として、何ができるでしょうか。</p>	<p>○ 写真7の避難所の様子をパワーポイントで流しながら、何が必要か、どんなことができそうかを想像させる。</p>	
<p>4 全体で意見交流する。</p>	<p>○ 各教科で培った力が生かせる内容については、学習は汎用できるものであることを押さえる。</p> <p>○ 中学生は、<u>守られる立場から守る立場になることを伝える。</u></p>	
<p>5 学習のまとめをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域社会の一員として、中学生に求められる役割について、感想を交えて書きましょう。</p>	<p>○ 学習の振り返りをさせる。</p>	

- 評価 (1) 災害から身を守るために行政や地域等が取り組んでいることを理解できたか。
(2) 中学生である自分たちに、何ができるのかを考えることができたか。